

番号	措置名	交付金事業の名称														
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	恩原高原スキー場圧雪車整備事業														
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町														
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原2037														
交付金事業の概要	<p>更新予定の圧雪車は、平成5年度に配備され20年以上が経過しているため作業能力が著しく低下しています。また、故障することも多く、故障時においては旧式であるため部品供給が困難となりゲレンデ整備作業に長時間を要し、営業開始時間に間に合わないなど不都合が生じています。冬季の夜間・早朝の急斜面の作業となり、作業員の安全性が確保されていないこともあり設備の更新を行ないます。</p> <p>【スキー場ゲレンデ圧雪車の購入】</p> <table border="0"> <tr> <td>・フロント排雪ブレード</td> <td>○恩原高原スキー場の利用者数</td> <td>平成26年度</td> <td>62,740人</td> </tr> <tr> <td>・スノーバケット</td> <td></td> <td>平成27年度</td> <td>35,600人</td> </tr> <tr> <td>・リア圧雪機</td> <td></td> <td>平成28年度</td> <td>52,050人</td> </tr> </table>				・フロント排雪ブレード	○恩原高原スキー場の利用者数	平成26年度	62,740人	・スノーバケット		平成27年度	35,600人	・リア圧雪機		平成28年度	52,050人
・フロント排雪ブレード	○恩原高原スキー場の利用者数	平成26年度	62,740人													
・スノーバケット		平成27年度	35,600人													
・リア圧雪機		平成28年度	52,050人													
総事業費	39,420,000	交付金充当額	37,000,000													
		うち文部科学省分	37,000,000													
		うち経済産業省分														
交付金事業の成果目標	<p>本事業による圧雪車を整備することにより、観光面はもとより町民及び多くの利用者のスポーツ・レクリエーション施設として広く利用に供することができ、電源立地地域である当町の利用客の安全性及び利便性を確保することができます。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>															
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するために、圧雪車の整備を行ないます。定量的な成果指数として、利用客の安全性及び利便性を確保することにより、利用客の増加を設定します。</p>															
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業を実施し、町民及び多くの利用者のスポーツ・レクリエーション施設として広く利用に供することができました。</p> <p>なお、定量的な指標として利用客の安全性及び利便性を確保したことにより、利用客が増加し、これは電源立地地域である当町の地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することができました。</p>															
交付金事業の契約の概要																
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額												
	恩原高原スキー場圧雪車整備	指名競争入札	スノーシステムズ 株式会社	39,420,000												
		計		39,420,000												
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	無													